

科目名	ビジネススキル6							年度	2026
英語科目名	Business Skill 6							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 サッカーコース 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	志佐、八重樫	教員の実務経験		有	実務経験の職種		クラブチーム、大学サッカー部にてサッカーコーチとして従事		
【科目の目的】 仕事に就く、内定を頂く、就職する、進路を決定することが目的となります。 “卒後の自分”や“将来の自分”から逆算し自身のキャリアデザインから、働きたい仕事、就職したい会社を探し、内定を頂けるように準備していきます。ビジネスマナーをはじめ、リクルートマナー、就職活動の方法などをひとつひとつ学び、社会人としてのビジネススキルやコミュニケーションスキルを身に付けていきます。									
【科目の概要】 社会人になるために必要なビジネススキルを身につけます。									
【到達目標】 A. ロジカルシンキング、イシュー、問題解決と取り組みについて知り理解することができる B. 時間管理、プレゼンテーション、コストについて知り理解することができる C. モチベーション管理、メタ認知、非認知2について知り理解することができる D. インクルーシブフットボール、行動分析2について知り理解することができる E. サステナビリティ、ストレスとアンガーマネジメントについて知り理解することができる									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きや大学生の状況などを概説するが、自身でも情報を収集し、現在の社会情勢や今後の推移について考えること。また授業時数の4分の3以上出席しない者は修了することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ロジカルシンキング イシュー、問題解決について知り理解することができる		ロジカルシンキング イシュー、問題解決について知ることができる		ロジカルシンキング イシュー、問題解決について知ることができない				
到達目標 B	時間管理、プレゼンテーション、コストについて知り理解することができる		時間管理、プレゼンテーション、コストについて知ることができる		時間管理、プレゼンテーション、コストについて知ることができない				
到達目標 C	モチベーション管理、メタ認知、非認知2について知り理解することができる		モチベーション管理、メタ認知、非認知2について知ることができる		モチベーション管理、メタ認知、非認知2について知ることができない				
到達目標 D	インクルーシブフットボール、行動分析2について知り理解することができる		インクルーシブフットボール、行動分析2について知ることができる		インクルーシブフットボール、行動分析2について知ることができない				
到達目標 E	サステナビリティ、ストレスとアンガーマネジメントについて知り理解することができる		サステナビリティ、ストレスとアンガーマネジメントについて知ることができる		サステナビリティ、ストレスとアンガーマネジメントについて知ることができない				
【教科書】 キャリアサポートブック									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験の実施、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネススキル 6			年度	2026
英語表記		Business Skill 6			学期	講義
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ロジカルシンキングについて	ロジカルシンキングについて知り理解できる	1 論理的思考とは	論理的思考について知り理解することができる	3	
			2 フレームワーク	フレームワーク種類について知り理解することができる		
			3 演繹、帰納、弁証法とは	演繹法、帰納法、弁証法について知り理解することができる		
2	イシューについて	イシューについて知り理解できる	1 イシューとは	イシューについて知り理解することができる		
			2 イシュードリブン思考とは	イシュードリブン思考について知り理解することができる		
			3 イシュー特定と仮説	イシュー特定と仮説について知り理解することができる		
3	自己ブランディングについて	自己ブランディングについて知り理解できる	1 セルフブランディングとは	セルフブランディングについて知り理解することができる		
			2 セルフブランディング方法	セルフブランディング方法について知り理解することができる		
			3 自己表現とアピールについて	自己表現とアピールについて知り理解することができる		
4	時間管理について	時間管理について知り理解できる	1 タイムマネジメントとは	タイムマネジメントについて知り理解することができる		
			2 タイムパフォーマンスとは	タイムパフォーマンスについて知り理解することができる		
			3 2のメリット、デメリット	2のメリット、デメリットについて知り理解することができる		
5	プレゼンテーションについて	プレゼンテーションについて知り理解できる	1 プレゼンテーションとは	プレゼンテーションについて知り理解することができる		
			2 プレゼンテーションスキルとは	プレゼンテーションスキルについて知り理解することができる		
			3 プレゼンテーションスキル向上	プレゼンテーションスキル向上について知り理解することができる		
6	コストについて	コストについて知り理解できる	1 コスト管理とは	コスト管理について知り理解することができる		
			2 生活コストとは	生活コストについて知り理解することができる		
			3 生活固定費と変動費	生活固定費と変動費について知り理解することができる		
7	モチベーション自己管理について2	モチベーション管理について知り理解できる	1 モチベーションとは2	モチベーションとは2について知り理解することができる		
			2 やる気や動機について2	やる気や動機2について知り理解することができる		
			3 自己管理の工夫について2	自己モチベーション管理の工夫について2を知り理解することができる		
8	メタ認知について2	メタ認知2について知り理解できる	1 メタ認知とは2	メタ認知2について知り理解することができる		
			2 認知と把握、冷静さについて	認知と把握、冷静さについて知り理解することができる		
			3 認知の理解と実践1	非認知の理解と実践1を試みることができる		
9	非認知について2	非認知2について知り理解できる	1 非認知とは2	非認知2について知り理解することができる		
			2 自己肯定感とパフォーマンス	自己肯定感とパフォーマンス度合いについて理解することができる		
			3 非認知の理解と実践2	非認知の理解と実践2を試みることができる		
10	インクルーシブフットボールについて	インクルーシブフットボールについて知り理解できる	1 インクルーシブな社会とは	インクルーシブな社会について知り理解することができる		
			2 インクルーシブフットボールとは	インクルーシブフットボールについて知り理解することができる		
			3 日本障がい者サッカー連盟について	日本障がい者サッカー連盟について知り理解することができる		
11	行動分析について2	行動分析について知り理解できる	1 行動分析とは2	行動分析2について知り理解することができる		
			2 結果評価と行動評価2	結果評価と行動評価2について知り理解することができる		
			3 行動評価からの向上とは2	行動評価からの向上2について知り理解することができる		
12	サステナビリティについて	サステナビリティについて知り理解できる	1 サステナビリティとは	サステナビリティについて知り理解することができる		
			2 サステナビリティ企業取り組み	サステナビリティ企業取り組みについて知り理解することができる		
			3 サッカー界のサステナビリティ	サッカー界のサステナビリティについて知り理解することができる		
13	ストレスマネジメントについて	ストレスマネジメントについて知り理解できる	1 ストレスマネジメントとは	ストレスマネジメントについて知り理解することができる		
			2 自分の感じるストレスを知る	自分の感じるストレスを知り理解することができる		
			3 方法と得られる効果とは	方法と得られる効果について知り理解することができる		
14	アンガーマネジメントについて	アンガーマネジメントについて知り理解できる	1 アンガーマネジメントとは	アンガーマネジメントを知り理解することができる		
			2 衝動、思考、行動コントロール	衝動、思考、行動コントロールを知り理解することができる		
			3 アンガーマネジメントのメリットとは	アンガーマネジメントのメリットを知り理解することができる		
15	後期まとめ	後期授業を振り返り理解を深めることができる	1 1回目～5回目の復習	1回目～5回目を復習し理解することができる	1	
			2 6回目～10回目の復習	6回目～10回目を復習し理解することができる		
			3 11回目～14回目の復習	11回目～14回目を復習し理解することができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等